



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月6日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 2897 URL <http://nissin.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO 兼 常務執行役員 (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成30年2月6日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	386,743	4.6	26,897	23.8	32,038	26.5	23,843	19.9
29年3月期第3四半期	369,838	6.4	21,718	2.5	25,323	8.2	19,893	13.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 31,685百万円 (581.5%) 29年3月期第3四半期 4,649百万円 (82.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	229.01	227.89
29年3月期第3四半期	185.53	184.62

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	582,899	390,883	62.6
29年3月期	537,180	353,517	63.5

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 364,839百万円 29年3月期 341,057百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		40.00		45.00	85.00
30年3月期		45.00			
30年3月期(予想)				45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	520,000	4.9	34,000	18.8	37,000	12.6	24,500	4.0	235.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注)詳細は、添付書類P.8(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	117,463,685 株	29年3月期	117,463,685 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	13,329,649 株	29年3月期	13,373,235 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	104,117,898 株	29年3月期3Q	107,221,848 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の世界経済は、米国の政策運営の不確実性や地政学的なリスクの高まりが懸念されるものの、全体として回復基調となりました。欧米では、雇用・所得環境の改善が続いたことに加え、株価の上昇を受けて、個人消費にも持ち直しの動きがみられました。アジアでは、新興国の底堅い内外需を背景に、景気は総じて回復傾向となりました。

国内においては、企業収益が好調に推移したことで、設備投資にも持ち直しの動きがみられ、景気は緩やかな回復基調が続きました。

このような状況の中、当社グループは平成29年3月期からの5ヵ年を対象とする「中期経営計画2020」に基づき、「本業で稼ぐ力」と「資本市場での価値」の向上を実現すべく、戦略テーマである①グローバルブランディングの促進、②海外重点地域への集中、③国内収益基盤の盤石化、④第2の収益の柱の構築、⑤グローバル経営人材の育成・強化に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高では前年同期比4.6%増の3,867億43百万円となりました。利益面では、営業利益は前年同期比23.8%増の268億97百万円、経常利益は前年同期比26.5%増の320億38百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比19.9%増の238億43百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成29年3月期	平成30年3月期	対前年同期比	
	自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日	自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日	金額	%
売上高	369,838	386,743	+16,905	+ 4.6
営業利益	21,718	26,897	+ 5,179	+23.8
経常利益	25,323	32,038	+ 6,714	+26.5
親会社株主に帰属 する四半期純利益	19,893	23,843	+ 3,950	+19.9

報告セグメント別の業績の状況は、次のとおりであります。

① 日清食品

日清食品(株)の販売状況は、袋めん市場の低迷による影響はあったものの、カップめん類、即席ライス類が売上を伸ばし前年同期比で増収となりました。

カップめん類では、平成29年4月に発売した、こってりなのに“脂質50%OFF” “糖質40%OFF” “カロリー178kcal”を実現した「カップヌードル ナイス」をはじめ、「カップヌードル」群が順調に推移したことに加え、平成29年8月にリニューアルした「日清麺職人」群も好調に推移しました。また、袋めん類では、平成29年9月に発売した、“もう一品にちょうどいい!”をコンセプトにした「お椀で食べるシリーズ」が売上増加に寄与しました。さらに即席ライス類では、「カレーメシ」群が引き続き好調であったことに加え、「ぶっこみ飯」群、「日本めし」群などの湯かけタイプの商品ラインナップが充実し、売上増加に貢献しました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比2.1%増の1,756億44百万円となり、セグメント利益は、前年同期比5.4%増の223億11百万円となりました。

② 明星食品

明星食品(株)の販売状況は、袋めん類では、引き続き「明星 チャルメラ」シリーズが前年同期を上回る売上水準を維持しました。またカップめん類では、「明星 ぶぶか」シリーズや「明星 チャルメラカップ」シリーズが好調だったことに加え、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」シリーズが回復基調にあり、即席めん事業全体として前年同期を上回りました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比0.9%増の308億84百万円となり、セグメント利益は、前年同期比62.4%増の17億81百万円となりました。

③ 低温事業

日清食品チルド(粥)の販売状況は、主力ブランド「ラーメン屋さん」のリニューアル効果等でラーメン類が順調に推移しました。しかしながら、需要停滞および市場環境の激化による焼そば類の売上減少が影響し、全体として前年同期比で減収となりました。

日清食品冷凍(粥)の販売状況は、具付きパスタ類、具付きラーメン類を中心に順調に推移しました。パスタ類では、「牛挽肉とまいたけのクリーミーボロネーゼ」をはじめとする、「日清もっちり生パスタ」シリーズが引き続き好調で、増益となりました。具付きラーメン類では「冷凍 日清中華 汁なし担々麺」、「冷凍 日清具多 辣椒担々麺」等が売上を伸ばし、堅調に推移しました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比3.7%増の482億98百万円となり、セグメント利益は、前年同期比1.6%増の17億84百万円となりました。

④ 米州地域

米州地域においては、価格競争の影響を受けにくい企業体質への改善を目指し、既存商品の強化に加え、付加価値市場の創造に取り組んでおります。そのような中、平成28年9月に米国及びブラジルで「CUP NOODLES」のリニューアルを実施し、また米国における高品質の「CUP NOODLES」の発売が売上増加に寄与し、米州セグメント全体として増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比9.0%増の471億10百万円となり、セグメント利益は、前年同期比61.0%増の17億1百万円となりました。

⑤ 中国地域

中国地域においては、中国大陸での即席めん市場が底を打ち、高価格帯市場が拡大しております。そのような中、販売エリア拡大（華北・東北・西南地区）と中国版カップヌードル「合味道」のブランド強化に取り組んでおり、また香港地域及び中国大陸ともに「出前一丁」が好調に推移しました。さらに前第4四半期連結会計期間より連結子会社化したMC Marketing & Sales (Hong Kong) Limitedの寄与もあり増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比21.1%増の315億70百万円となり、セグメント利益は、前年同期比6.6%増の22億93百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントである国内の菓子事業、飲料事業等及び欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は、前年同期比3.6%増の532億34百万円となり、セグメント利益は、前年同期比46.2%減の15億60百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の当社グループの総資産は、前連結会計年度末に比べ457億18百万円増加し、5,828億99百万円となりました。当第3四半期連結会計期間末の資産、負債及び純資産の状況は次のとおりであります。

資産の増加につきましては、主に有形固定資産が294億49百万円及び投資有価証券が131億47百万円増加したことによるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ83億52百万円増加し、1,920億15百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が87億68百万円増加したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ373億66百万円増加し、3,908億83百万円となりました。これは主に利益剰余金が145億53百万円、非支配株主持分が133億87百万円、その他有価証券評価差額金が83億20百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の63.5%から62.6%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	70,919	60,729
受取手形及び売掛金	65,290	77,606
有価証券	1,155	652
商品及び製品	12,697	14,244
原材料及び貯蔵品	16,209	16,495
その他	11,999	16,130
貸倒引当金	△385	△393
流動資産合計	177,887	185,465
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	60,936	65,754
機械装置及び運搬具（純額）	50,689	59,169
土地	52,748	52,965
その他（純額）	23,639	39,574
有形固定資産合計	188,013	217,463
無形固定資産		
のれん	30,464	28,163
その他	13,606	12,138
無形固定資産合計	44,070	40,302
投資その他の資産		
投資有価証券	120,136	133,284
退職給付に係る資産	335	362
その他	6,868	6,199
貸倒引当金	△132	△177
投資その他の資産合計	127,208	139,668
固定資産合計	359,293	397,434
資産合計	537,180	582,899

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	51,705	60,474
短期借入金	18,450	13,041
未払金	32,961	36,315
未払法人税等	7,926	5,242
その他	24,804	25,644
流動負債合計	135,847	140,717
固定負債		
長期借入金	15,867	15,666
退職給付に係る負債	7,346	7,192
その他	24,601	28,438
固定負債合計	47,815	51,298
負債合計	183,662	192,015
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	49,823	51,233
利益剰余金	308,074	322,627
自己株式	△58,190	△58,003
株主資本合計	324,830	340,980
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,794	32,114
繰延ヘッジ損益	-	1
土地再評価差額金	△6,382	△6,382
為替換算調整勘定	△1,403	△1,907
退職給付に係る調整累計額	218	32
その他の包括利益累計額合計	16,227	23,859
新株予約権	1,626	1,822
非支配株主持分	10,833	24,221
純資産合計	353,517	390,883
負債純資産合計	537,180	582,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	369,838	386,743
売上原価	201,438	210,599
売上総利益	168,399	176,144
販売費及び一般管理費	146,681	149,247
営業利益	21,718	26,897
営業外収益		
受取利息	633	893
受取配当金	1,353	1,326
有価証券売却益	1,332	888
持分法による投資利益	1,178	1,963
その他	609	1,097
営業外収益合計	5,107	6,170
営業外費用		
支払利息	282	332
為替差損	787	39
支払手数料	267	217
その他	164	440
営業外費用合計	1,501	1,029
経常利益	25,323	32,038
特別利益		
固定資産売却益	109	759
投資有価証券売却益	6,828	1,093
受取保険金	264	431
その他	71	34
特別利益合計	7,274	2,319
特別損失		
固定資産売却損	92	404
固定資産廃棄損	178	218
減損損失	589	186
火災による損失	493	—
投資有価証券評価損	—	117
関係会社株式評価損	408	184
契約変更による精算金	585	—
工場閉鎖損失	512	90
その他	113	275
特別損失合計	2,973	1,477
税金等調整前四半期純利益	29,625	32,880
法人税等	9,567	9,012
四半期純利益	20,057	23,867
非支配株主に帰属する四半期純利益	164	24
親会社株主に帰属する四半期純利益	19,893	23,843

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	20,057	23,867
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,982	8,189
繰延ヘッジ損益	261	1
土地再評価差額金	△56	—
為替換算調整勘定	3,280	△461
退職給付に係る調整額	2,371	△212
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,283	300
その他の包括利益合計	△15,408	7,817
四半期包括利益	4,649	31,685
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,665	31,475
非支配株主に係る四半期包括利益	△16	209

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社の連結子会社で、香港地域を含む中国事業全般を統括している日清食品有限公司は、平成29年12月11日に香港証券取引所メインボード市場に上場し、新株式の発行を行いました。この結果等により、当第3四半期連結累計期間において資本剰余金が1,410百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金が51,233百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(連結子会社の事業年度等に関する事項の変更)

従来、連結子会社のうち決算日または仮決算日が12月31日であったニッシンフーズアジア PTE. LTD. 等の連結子会社7社については、同日現在の財務諸表を使用し、連結決算日との間に生じた重要な取引については連結上必要な調整を行っていましたが、より適切な連結財務諸表の開示を行うため、第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更または連結決算日に仮決算を行う方法に変更しております。

これらの決算期変更に伴う、平成29年1月1日から平成29年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	171,990	30,618	46,557	43,226	26,072	318,465	51,372	369,838	—	369,838
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	690	4,575	1,325	2	203	6,798	21,006	27,804	△27,804	—
計	172,681	35,194	47,883	43,228	26,275	325,263	72,378	397,642	△27,804	369,838
セグメント利益 又は損失 (△)	21,158	1,097	1,757	1,057	2,151	27,221	2,901	30,122	△8,403	21,718

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△8,403百万円には、退職給付関係費用△3,274百万円、のれんの償却額△1,407百万円、セグメント間取引消去等△225百万円、グループ関連費用△3,496百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	175,644	30,884	48,298	47,110	31,570	333,509	53,234	386,743	—	386,743
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	735	4,229	1,265	3	260	6,494	21,183	27,677	△27,677	—
計	176,380	35,114	49,563	47,114	31,831	340,003	74,418	414,421	△27,677	386,743
セグメント利益 又は損失 (△)	22,311	1,781	1,784	1,701	2,293	29,873	1,560	31,433	△4,536	26,897

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△4,536百万円には、退職給付関係費用462百万円、のれんの償却額△1,268百万円、セグメント間取引消去等△230百万円、グループ関連費用△3,499百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

当第3四半期連結会計期間において、当社の連結子会社で、香港地域を含む中国事業全般を統括している日清食品有限公司は、香港証券取引所メインボード市場に上場し、新株式を発行いたしました。この結果等により、「中国地域」セグメントの資産の金額が前連結会計年度末に比べて13,354百万円増加しております。